

# 学術論文の書き方

## (日本文学研究・書物学・文学交流)

### 1. 学術論文とは何か

- 一つのテーマについて、新しい発見を、学術的な手続きに従って提示するもの。  
《比較》卒業論文（複数のテーマ、必ずしも新発見があるとはかぎらない）  
修士論文（複数のテーマ）
- 学術論文は、研究者の〈作品〉。
- 学術論文の〈文体〉に注意する。

### 2. 日本文学研究・書物学・文学交流(比較文学)の学術論文の規模

- 学術論文の分量には、目安がある。
- 400字詰め原稿用紙30～40枚〔12,000～16,000字〕(注、図表、図版を含む)。  
《比較》卒業論文よりも短い  
修士論文の一つのテーマ分
- 全体の構成は、4～5節(各節7～10枚〔2,800～4,000字〕程度)
- 一つのテーマに、錐のように小さく、しかし鋭く追究する。同時に必ず大きなテーマを見据えるようにする(常識を改めるような)。  
《例》特定の詩人の翻訳の方法 → 日本の詩の英訳の問題  
書物の装丁 → 書物の歴史の動き方  
萬葉集の写本 → 新しい〈日本文学〉  
山上憶良の〈言志〉 → 日本の歌人と中国の詩人の違い

### 3. 日本文学研究・書物学・文学交流(比較文学)の学術論文のフォーマット

#### (1) 研究史の整理と自分の問題点の提示

- a 論じる対象の簡単な紹介
- b コメントを加えながらの研究史の整理 → 自分の問題意識や立ち位置を明確にする  
《ポイント》
  - 先行研究は必ずある。なければ関連する分野から“引き寄せる”。  
※先行研究は、各種データベースを使って、網羅的に収集する。  
国立国会図書館サーチ、オンライン、デジタルデータベース  
国立情報学研究所 CiNii Articles, CiNii Books  
国文学研究資料館 国文学論文目録データベース  
日本の古本屋
  - あくまでも、自分の研究の位置を明確にするための研究史の整理。

c 結論をある程度示しながらの、論文の目的の提示

(2) 論証

- 作品・資料の解釈と分析。
- 解釈と分析のための方法の工夫。
- データの豊富さが肝要。

《ポイント》

- “空中戦”と“地上戦”
- 私たちの研究は、基本的に“地上戦”
- しかし、資料集であってはならない、かならず〈論理〉(＝物語)が必要
- 複数の視点が、論を立体的なものにする。

(3) 結論と次の課題の提示

- (2) で得た結論を肉付けする。

《例》

- 結論を改めて時代の文脈の中に置いてみる。
- 他の作品・資料と比較する。
- この論文で論じることのできなかった次なる課題を提示する。

(4) 論述に当たっての注記

- 底本、本文引用の際の処理、略号など

(5) 注

- 引用文献の書誌情報
- 本文の補足(本文から見ると枝葉になる問題)

(6) 謝辞

4. 学術論文を投稿しよう！

(青山学院大学文学研究科日本文学・日本語専攻院生へ)

- 『青山語文』 論文題目届(エントリー)：6月末日まで／ 投稿：9月末日まで
- 『緑岡詞林 青山学院大学大学院日本語文論考』 論文題目届(エントリー)：11月末日まで／ 投稿：翌年2月15日まで
- 青山学院大学文学部『紀要』 エントリー：7月上旬／ 投稿：10月末頃  
《学会誌》  
『文学・語学』(全国大学国語国文学会)、『上代文学』(上代文学会)、『日本近代文学』(日本近代文学会)、『昭和文学研究』(昭和文学会)、『比較文学』(日本比較文学会)、『出版研究』(日本出版学会)、『図書館界』(図書館研究会)など

(青山学院大学 小松靖彦作成)